

～最高1MHzまでの周波数帯域を正確に測定しよう!～

【東京開催】

電池分野での交流インピーダンス測定法

1名分料金で
2人目無料<https://www.rdsc.co.jp/seminar/250940>

◆日 時：2025年09月19日（金） 12:30～15:30

◆会 場：江東区産業会館 第2会議室

◆聴講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円（税込）

・2名同時でお申し込みされた場合、2名で49,500円（税込）

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：(株)クオルテック 研究開発部 滋賀研究チーム 中島 稔 氏

実際に装置に触れて測定する!

【講座の趣旨】

電池分野においてその評価法の一つとして一般的に実施されている交流インピーダンス測定法ですが、最高1MHzの測定さえ正確に行われていない例が多々あります。その中には、本来、上級者が実施すべき電池の交流インピーダンス測定をいきなり実施するという極端な例も見受けられます。

本講演では、一つの区切りである“最高1MHzまでの周波数帯域での交流インピーダンス測定”を正確に実施するための測定システム構築・測定条件などに関する説明を行います。

少しでも多くの方に正確な交流インピーダンス測定を実施していただけることを目的に、対面形式かつ**測定器も実際に操作していただき**、初心者にも容易にご理解いただけるよう説明いたします。（測定器は、Solartron製1260A、エヌエフ回路設計ブロック製ZM2376を予定）。尚、当日は酸化物系固体電解質などの交流インピーダンス測定実演およびご自身による測定を体験いただきます。

【プログラム】

- 交流インピーダンス測定に必要な予備知識
 - なぜ交流?
 - 交流インピーダンス
 - Nyquist線図、Bode線図
- 交流インピーダンス測定システムの概要
 - 測定システムの構成
 - 測定器（インピーダンスアナライザ）
 - 同軸ケーブルアセンブリ
 - 測定治具
 - その他
 - 測定器（専用機、併用型、一体型の違い）
 - 同軸ケーブルアセンブリ、帰還電流経路
 - 測定治具
 - 標準試料および確度マップ
- 被測定物（固体電解質試料の場合）
 - 試料サイズ
 - 電極サイズおよびその形成方法
- 測定条件（測定毎に決める）
 - 測定周波数帯域および掃引方向
 - 印加電圧
 - 平均化
 - 補正
 - ちょっとしたテクニックなど
- 交流インピーダンス測定の実演・体験
 - 標準試料（標準RC回路、標準抵抗器）
 - 酸化物系固体電解質

『交流インピーダンス【東京開催】』セミナー申込書

会社名			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属・役職	E-mail	
①			
②			

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください。弊社で内容を確認後、受領のご連絡を差し上げます。受講用URLは後日お送りいたします。

なお、お申し込み後のキャンセルは原則として承っておりません。ご都合により出席できない場合は、代理の方にご出席いただくようお願いいたします。代理の方も見つからない場合は、（土日祝日を除く）8日前までにご連絡いただければキャンセルを承ります。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録（無料） Eメール 郵送 ※ご希望の案内方法を選択してください。複数選択可。